


環境活動レポート

活動期間 2012年10月～2013年9月



発行日 2013年11月28日

 **中島精工株式会社**
長野県千曲市大字雨宮926-1

NAKAJIMA SEIKO CO., LTD.

1. 会社概要

(1)名称及び代表者名

中島精工株式会社
代表取締役社長 稲玉和平

(2)所在地

〒387-0001
長野県千曲市大字雨宮926-1

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役専務 中島高広
担当者 管理部総務 係長 木村祥絵
連絡先 TEL:026-272-2148 FAX:026-272-2564

(4)事業内容

LCD用及びハイブリッドIC用リードフレームの製造

(5)営業品目

LCD用リードフレーム
HIC用リードフレーム

(6)事業規模等

売上高 27,617万円(2012年10月～2013年9月実績)
従業員数 19名
床面積 1,783㎡

(7)認証・登録対象範囲

中島精工株式会社 全組織・全活動

2. 環境方針

《基本理念》

中島精工株式会社の全社員は、環境問題が人類共通の最重要課題であるとの認識のもと、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮した事業活動を行ないます。

《基本方針》

- (1)当社は、各種リードフレームの生産・販売をしております。すべての活動において環境保全に努め「地球に優しい企業」を目指します。
- (2)全社員が環境に与える影響を的確に把握し、環境保全と汚染予防の活動を継続的に実施します。
- (3)環境関連の法律、規制、条例及び当社が受け入れを決めた基準を遵守します。
- (4)エネルギー・廃棄物等を削減し、分別を徹底することによる再資源化を推進します。また、グリーン購入及び製品・サービスの環境配慮に努めます。
- (5)この環境方針を全社員に周知すると共に、一般に公開します。

2004年6月1日策定

2011年10月1日改定

中島精工株式会社
代表取締役社長 稲玉和平

3. 環境目標

| 管理項目 | | 基準(実績) | 年度目標 | 中期目標 | |
|---------------|-------------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | | 43期 (2011.10~2012.9) | 44期 (2012.10~2013.9) | 45期 (2013.10~2014.9) | 46期 (2014.10~2015.9) |
| 電力 | 使用量(kWh) | 215,551.00 | 213,400.00 | 211,239.98 | 209,084.47 |
| | 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) | 111,655.42 | 110,541.20 | 109,422.31 | 108,305.76 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -2.00 | -3.00 |
| 灯油 | 使用量(ℓ) | 1,399.00 | 1,386.00 | 1,371.02 | 1,357.03 |
| | 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) | 3,486.21 | 3,453.81 | 3,416.49 | 3,381.62 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -2.00 | -3.00 |
| 廃棄物 (可燃ごみ) | 排出量(kg) | 606.50 | 600.40 | 594.37 | 588.30 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -2.00 | -3.00 |
| 水道 | 使用量(m ³) | 165.00 | 163.40 | 162.52 | 161.70 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -1.50 | -2.00 |
| グリーン購入 | | 価格を考慮しながら購入 | | | |
| 製品・サービスの環境配慮 | | 設計 パーツ交換による多品種加工金型の製作 | | | |

※二酸化炭素排出量把握に用いた購入電力の排出係数:0.5180 (2011年度)

4. 環境目標の実績

| 管理項目 | | 基準(実績) | 年度目標 | 実績 |
|---------------|-------------------------------|--|-------------------------|------------|
| | | 43期 (2011.10~2012.9) | 44期 (2012.10~2013.9) | |
| 電力 | 使用量(kWh) | 215,551.00 | 213,400.00 | 201,785.00 |
| | 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) | 111,655.42 | 110,541.20 | 104,524.63 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -6.39 |
| 灯油 | 使用量(ℓ) | 1,399.00 | 1,386.00 | 1,345.00 |
| | 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) | 3,486.21 | 3,453.81 | 3,351.65 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -3.86 |
| 廃棄物 (可燃ごみ) | 排出量(kg) | 606.50 | 600.40 | 288.50 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -52.43 |
| 水道 | 使用量(m ³) | 165.00 | 163.40 | 144.00 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -12.73 |
| | | 44期活動 (2012.10~2013.9) | | |
| グリーン購入 | | 事務用品(コピー用紙)、消耗品(トイレットペーパー)他、22品目を購入。 | | |
| 製品・サービスの環境配慮 | | ①設計 パーツ交換による多品種加工金型の製作。 ②リサイクル 加工時のスクラップは、地金(有価物)として材料購入業者に引き取ってもらい再生している。梱包資材は、繰り返し使用できる通い箱等で対応した。 | | |

※二酸化炭素排出量把握に用いた購入電力の排出係数:0.5180 (2011年度)

5. 環境活動計画及び取組結果、評価 及び次年度の取組内容

| 環境活動計画 | | 実施状況 | 評価・次年度の取組 |
|----------------------|------------------------|------|--|
| 電力使用量 削減 | 冷房設定温度29℃・暖房設定温度20℃ | ○ | 環境目標：目標達成。 エアコンの使用条件・温度管理を 徹底した。社員の意識が高まった。 継続実施。 |
| | 冷暖房器具の使用規定(社内)の遵守 | ○ | |
| | デマンドシステムの活用 | ○ | |
| | エアコンのフィルター清掃(冷暖房の効率Up) | ○ | |
| | 業務に支障がない範囲での照明の消灯 | ○ | |
| | クールビズ・ウォームビズ | ○ | |
| 灯油使用量 削減 | 暖房設定温度20℃ | ○ | 環境目標：目標達成。 暖房器具の使用条件・温度管理を 徹底した。継続実施。 |
| | 暖房器具の使用規定(社内)の遵守 | ○ | |
| | ウォームビズ | ○ | |
| 廃棄物排出 量削減 | ごみの分別の徹底 | ○ | 環境目標：目標達成。材料紙管の 業者引取により削減。継続実施。 |
| | コピー用紙の使用枚数削減 | ○ | |
| 水道使用量 削減 | 手洗い中の止水の徹底 | ○ | 環境目標：目標達成。社員の節水 意識が高まった。継続実施。 |
| | 電気ポットの数量削減 | ○ | |
| グリーン 購入 | エコマーク製品の購入 | △ | 価格との兼ね合いもあり難しい部分 もあるが、引き続き取組んでいく。 |
| | リサイクル製品の購入 | △ | |
| 製品・ サービスの 環境配慮 | 不良削減 | △ | ミスが発生しないような工程見直し 等を進めていく。継続実施。 |
| | 金型の効率化 | ○ | 継続実施。 |
| | 梱包資材のリサイクル化 | ○ | 継続実施。 |

実施状況 ○:実施できた △:不十分だった ×:実施できなかった

6. 環境関連法令の遵守状況並びに違反・訴訟等の有無

(1)当社に適用とされる主な環境関連法令と遵守状況

| 分類 | 法律名 | 対象 | 遵守事項 | 確認書類 | 問題点等 |
|-----|-----------|--------------------|----------------------|----------------------|------|
| 廃棄物 | 廃棄物処理法 | 産業廃棄物 (廃プラ・廃油他) | 排出量削減・分 別・適正な処分 | 産業廃棄物管理 票(マニフェスト) | 特になし |
| | 資源有効利用促進法 | 地金 | 地金の分別・ 適正な払出し | 地金明細表 | 特になし |
| その他 | 労働安全衛生法 | 従業員の安全 衛生・健康保持 | 安全パトロール チェックリスト項目 | 安全パトロール 結果報告 | 特になし |
| | 消防法 | 灯油 | 届出・法定表示 板の設置 | 貯留届出書・ 現場確認 | 特になし |

(2)環境関連法令における違反・訴訟等の有無

2013年9月30日までの、環境関連法令の遵守状況の確認において違反等はありません。
また、関係当局からの指摘及び周辺住民からの苦情・訴訟等はありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1)全体評価

今期(44期)は売上が大きく減少(前期比: -18.9%)した状況下において、必然的にCO₂排出量も削減したが、削減率は前期比-6.50%に留まり、売上減少率と比較すると物足りなさを感じるころではあるが、削減できた事は一定の評価をしてもよいと考える。

項目別に見ると、暖房費は前期(43期)より熱効率と費用削減の観点から電気から灯油へシフトしている為、前期は灯油使用量が一時的に増えたが、今期は前期比-3.86%と削減目標を達成する事ができた。最も重要な電力については、前期比-6.39%と削減したものの、その主要因は受注減少による機械稼働率の低下にあると考えられるが、新設の機械(MC一台)の稼働率が上昇した事も含めて考慮する必要もある。また、最大電力抑制活動(目標120kWに対し、実績120kW)も電力使用量の削減には寄与しているものと考えられる。廃棄物は、リサイクル化の徹底が図られ、予想以上に大きな削減(前期比-52.43%)となり驚いている。水道については、トイレの限定使用化や洗濯回数の削減等の工夫により、前期比-12.73%と削減できた。全体として、とても良い結果と判断する。

(2)環境目標見直し

44期(2012.10~2013.9)実績の結果を受けて、下記の通り環境目標の見直しを行う。

| 管理項目 | | 基準(実績) | 中期目標 | | |
|---------------|-------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | | 44期 (2012.10~2013.9) | 45期 (2013.10~2014.9) | 46期 (2014.10~2015.9) | 47期 (2015.10~2016.9) |
| 電力 | 使用量(kWh) | 201,785.00 | 199,767.00 | 197,749.30 | 195,731.45 |
| | 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) | 104,524.63 | 103,479.31 | 102,434.14 | 101,388.89 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -2.00 | -3.00 |
| 灯油 | 使用量(ℓ) | 1,345.00 | 1,331.55 | 1,318.10 | 1304.65 |
| | 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) | 3,351.65 | 3,318.13 | 3,284.61 | 3,251.10 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -2.00 | -3.00 |
| 廃棄物 (可燃ごみ) | 排出量(kg) | 288.50 | 285.60 | 282.73 | 279.84 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -2.00 | -3.00 |
| 水道 | 使用量(m ³) | 144.00 | 142.56 | 141.84 | 141.12 |
| | 削減率(%) | | -1.00 | -1.50 | -2.00 |
| グリーン購入 | | エコマーク製品・リサイクル製品の購入促進 | | | |
| 製品・サービスの環境配慮 | | 不良削減・金型の効率化・梱包資材のリサイクル化 | | | |

※二酸化炭素排出量把握に用いた購入電力の排出係数:0.5180(2011年度)

(3)総括

受注減少に歯止めが掛からず、厳しい経営状態が続く当社にとって、経費節減策の一環としてのエネルギーや廃棄物等の削減取り組みは、昨今の環境保全意識の高揚化と相まって、とても重要と考えられる。

東日本大震災(2011年3月11日発生)後の電力不足や経済、生活に与えた問題を契機に国民の節電、節約意識は大きく変化したように見受けられる。当社社員も同様に意識が向上し、年々厳しくなる削減目標に対し、協力的に取り組んでくれている事が見て取れる。心より感謝すると共に今後の継続的な取り組みに対し、一層の協力をお願いしたい。

中島精工株式会社
代表取締役 社長 稲玉和平

NAKAJIMA SEIKO CO., LTD.